

平成23年度 事業計画

1. 庶務事項

平成23年度も前年度に引き続き会員拡大年間として入会金を免除し、会員の増強活動を積極的に推進する。

2. 講演会, 討論会, 研究発表会ならびに見学会等の事業計画

月	日	曜	名 称	開 催 地
平成23年				
5	17	火	第52回通常総会, 第54回年会－受賞講演, 特別講演, 懇親会	東京 クアール船堀
	18	水	受賞講演, 第60回研究発表会, JPIJSポスターセッション	
6	17	金	第31回絶縁油分科会研究発表会	京都 京都テルサ
7	1	金	第10回配管技術セミナー	東京 青少年総合センター
7	6	水	資源講演会	東京 東京大学
10	7	金	平成23年度精製講演会	東京 青少年総合センター
10	14	金	第11回 回転機研究討論会	東京 青少年総合センター
11	10	木	山口大会－特別講演, 第41回石油・石油化学討論会, 懇親会 見学会	山口 山口県教育会館
	11	金		
	12	土		
11	27	日	第21回日本－サウジアラビア合同セミナー	ダハラン KFUPM
	28	月		
12	5	月	2011石油製品討論会	東京 青少年総合センター
	6	火		
12	8	木	第42回装置研究討論会	東京 青少年総合センター
	9	金		
12	14	水	第19回触媒シンポジウム	東京 工学院大学
平成24年				
1	17	火	第13回日本－クウェート合同セミナー	アハマディ KISR
	18	水		
1	20	金	第37回精製パネル討論会	東京 青少年総合センター
1	—	—	設備維持規格講習会 (配管・設備)	東京, 大阪
1	—	—	設備維持規格講習会 (回転機, 電気設備, 計装設備)	東京
1	—	—	設備維持管理士更新講習会 (回転機, 電気設備, 計装設備)	東京
2	12	日	設備維持管理士認定試験	東京, 大阪
			(配管・設備, 回転機, 電気設備, 計装設備)	
2	—	—	設備維持管理士更新講習会 (配管・設備)	東京
3	—	—	第12回電気研究討論会	東京
3	—	—	第28回計装研究討論会	東京

3. 研究助成

前年度に続き、若手研究者及び部会への助成公募を行い、適格者を選考し、研究助成金を交付する。

4. 会務部門

(1) 支部活動

[北海道支部]

- 1) 平成23年7月に日本化学会北海道支部と夏季研究発表会（室蘭）を共催する。
- 2) 平成23年10月に第4回実践的石油学講習をJX日鉱日石エネルギー・室蘭製油所で実施する。
- 3) 平成23年12月に第12回北海道支部講演会（函館）を企画し、実施する。
- 4) 平成24年2月に学協会北海道支部合同冬季研究発表会（札幌）を共催する。

[東北支部]

- 1) 平成23年11月に第31回東北支部講演会（福島）を企画し、実施する。
- 2) 平成23年11月に触媒学会東北地区講演会を共催する。
- 3) 東北地区で開催される科学教室に協賛する。

[東海支部]

- 1) 東海地区の石油精製会社及び石油化学会社の5製油所・事業所にて大学院生を対象に行うインターンシップ事業に協力する。また9月にインターンシップ発表会を企画し、実施する。
- 2) 勉強会及び製油所見学会を企画し、実施する。

[関西支部]

- 1) 平成23年5月に研究機関・企業見学会を企画し、実施する。
- 2) 平成23年9月に第19回学生企業見学会を企画し、実施する。
- 3) 平成23年秋に第18回関西支部セミナーを日本エネルギー学会関西支部と共催する。
- 4) 平成23年12月に第20回関西支部研究発表会を日本エネルギー学会関西支部と共催する。
- 5) JPIJS関西地区とセミナーを共催する。

[中国・四国支部]

- 1) 平成24年2月に第16回中国・四国支部技術交流会（松山）を企画し、実施する。
- 2) 中国・四国地区の製油所・事業所にて学部・大学院生を対象に行うインターンシップ事業に協力する。
- 3) 平成23年11月10日(木)～12日(土)開催の山口大会（第41回石油・石油化学討論会）において、実行委員会を組織し、支援する。

[九州・沖縄支部]

- 1) 平成23年夏に第21回九州・沖縄支部講演会を企画し、実施する。
- 2) 平成23年秋に第22回九州・沖縄支部講演会（北九州）を企画し、実施する。
- 3) 平成23年冬に第23回九州・沖縄支部講演会を企画し、実施する。

(2) 広報活動

- 1) HPの内容の一層の充実を図るため、独自サーバーの導入を検討する。
- 2) 石油学会から発信する情報、提言を検討する。
- 3) 前年度同様、学会活動を適宜新聞各社に紹介する。

(3) ジュニア・ソサイアティ (JPIJS) の活動

- 1) 平成23年5月18日(水)に第16回JPIJS若手研究者のためのポスターセッションを開催する。

- 2) 平成23年11月の山口大会にてJS研究会の依頼講演を実施する(調整中)。
- 3) その他、全国においての活動は次のとおりである。
 - [北海道・東北地区]
 - ・平成23年7月下旬～8月上旬に第51回オーロラセミナーを触媒学会と共催する。
 - ・平成24年2月上旬に仙台で北海道・東北地区講演会を開催する。
 - [関東地区]
 - ・平成23年10月に見学会を開催する。
 - [関西地区]
 - ・コロキウムを日本エネルギー学会関西支部・石油学会関西支部と共催する。
 - [九州地区]
 - ・平成23年7月末に鹿児島大学で九州地区若手ケミカルエンジニア討論会を開催する。
 - ・平成23年秋に大分大学で講演会を開催する。
- 4) ペトロテックの「JPIJSだより」及びHPにて、各地区の行事の案内、結果報告などの広報活動を行う。

5. 学術刊行部門

ペトロテック(一般誌、月刊)ならびにJournal of the Japan Petroleum Institute(論文誌、隔月刊)を発行する。また論文誌のオンラインジャーナルを冊子体刊行から2カ月後に発行する。

6. 研究・技術交流部門

(1) 表彰委員会

- 1) 石油学会表彰規程により表彰を行う。
- 2) 野口記念賞表彰規程により表彰を行う。
- 3) 国際交流賞表彰規程により表彰を行う。

(2) 教育委員会

移動大学「石油関連セミナー」を前年度に引き続き開催する。

(3) 国際委員会

(財)国際石油交流センターが実施する産油国等石油精製・利用技術国際共同研究のうち、①産油国連携共同研究セミナー(第21回日本-サウジアラビア合同セミナー、第13回日本-クウェート合同セミナー)、②産油国等研究者の受入事業に参加し、調査・研究等を実施する。

(4) 外部団体に対する協力

他学協会、その他関連団体からの事業の共催、協賛などの要請には、理事会の審議を経て協力する。

7. 部会部門

(1) 資源部会

- 1) 平成23年7月6日(水)に資源講演会を企画し、実施する。
- 2) 平成23年11月10日(木)、11日(金)に開催の第41回石油・石油化学討論会に協力する。

(2) 精製部会

- 1) 平成23年10月7日(金)に平成23年度精製講演会を企画し、実施する。
- 2) 平成24年1月20日(金)に第37回精製パネル討論会を企画し、実施する。

(3) 石油化学部会

- 1) 平成23年11月10日(木)、11日(金)に開催の第41回石油・石油化学討論会に協力する。

- 2) 平成23年12月14日(水)に第19回触媒シンポジウムを企画し、実施する。
- (4) 製品部会
 - 1) 平成23年12月5日(月), 6日(火)に2011石油製品討論会を企画し、実施する。
 - 2) ガソリン分科会
 - (株)石油産業技術研究所から「自動車のONR及び燃費調査」について受託し、調査・研究を実施する。
 - 3) 燃料油分科会
 - a) (株)石油産業技術研究所から「ディーゼル車の燃料供給システムに関する調査」について受託し、調査・研究を実施する。
 - b) 第18回CFRオクタン価照合試験を実施する。
 - 4) 潤滑油分科会
 - エンジン汚れ評価に関するJPI規格普及のため、レイティングシンポジウムを開催する。
 - 5) アスファルト分科会
 - 舗装用アスファルトの品質基準の検討を行う。
 - 6) 絶縁油分科会
 - a) 平成23年6月17日(金)に第31回絶縁油分科会研究発表会を企画し、実施する。
 - b) 絶縁油関連の文献を調査し、最新情報の共有化を図る。
 - c) エステル系絶縁油に関する文献調査、検討を行う。
 - d) 絶縁油の硫化腐食について文献調査、検討を行う。
 - e) 絶縁油に関する勉強会を実施する。
 - 7) 試験分析分科会
 - a) XRFによる潤滑油製品中の金属元素分析方法及び硫黄分の分析方法について検討する。
 - b) JPI-5S-46-96 [灯油の過酸化物価試験方法] の規格改訂を検討する。
 - c) ガソリンの酸化安定度測定方法を検討する。
 - d) 試験分析に関するJPI規格について見直しを実施する。
 - e) 試験分析に関する勉強会を実施する。
- (5) 装置部会
 - (5-1) 装置委員会
 - 1) 平成23年12月8日(木), 9日(金)に第42回装置研究討論会を企画し、実施する。
 - 2) 機器分科会
 - a) 回転機専門委員会, 機器WGによる機器分科会関係規格の見直し及び技術資料の作成を, 前年度に引き続き実施する。
 - b) 平成23年10月14日(金)に第11回 回転機研究討論会を企画し、実施する。
 - 3) 配管分科会
 - フランジ専門委員会, バルブ専門委員会, ガasket専門委員会, 管及び管継手専門委員会, 配管基準専門委員会の活動を前年度に引き続き実施する。
 - 4) 設備保全分科会
 - a) 設備技術専門委員会の活動として, 委員会内講演会, 情報交換会, 見学会を実施する。
 - b) 平成23年9月22日(木)に第24回設備保全分科会シンポジウムを企画し、実施する。
 - 5) 計装分科会
 - a) 平成24年3月に第28回計装研究討論会を企画し、実施する。
 - b) 計装技術専門委員会の活動として勉強会・見学会の開催, アンケート調査, 維持規格改訂作業への支援を行う。

6) 電気分科会

- a) 平成24年3月に第12回電気研究討論会を企画し、実施する。
- b) 電気専門委員会の活動として、安全・技術情報の収集、見学会の開催、維持規格改訂作業への支援を行う。

7) 保安分科会

各社の環境・安全に対する取り組みの実態・問題点を調査し、活動指針を作成する。

(5-2) 設備維持規格委員会

石油精製業の事業所における設備の性能を維持し、事故の防止と保安の確保を図るため、事業所内における設備の維持規格の制定及び改訂作業を実施する。

(6) 経営情報部会

WGを設置し、調査・検討を行い、年度末にWG活動成果報告会を実施する。また、適宜、部会内講演会を企画し、実施する。平成23年度WG活動テーマは以下の2テーマを予定している。

- ・石油・石油化学産業におけるクラウドコンピューティング技術活用の調査・研究
- ・石油・石油化学産業における情報系・制御系システムのセキュリティに関する調査・研究

(7) 新エネルギー部会

- 1) 新エネルギー部会講演会を企画し、実施する。
- 2) 次世代のバイオマス燃料について、情報収集を行う。

8. 認証部門

(1) 溶接士の認定事業

溶接士検定委員会の活動として、技量検定基準の見直し、全国規模での溶接関連情報の交換を前年度に引き続き実施する。

(2) 標準物質の認証事業

- 1) 前年度に引き続き、重油硫黄分、重油窒素分、ニッケル・バナジウム分、FIA用、軽油硫黄分、標準ガソリン及び引火点の認証事業を行う。
- 2) 分析技術の進展や、需要を見ながら、新規認証及び認証中止の検討を行う。
- 3) 分析機器メーカーとの情報交換を行う。

(3) 設備維持管理士の認定事業

- 1) 平成24年1月に東京で、設備維持規格講習会（配管・設備、回転機、電気設備、計装設備）を実施する。配管・設備については、大阪でも実施する。
- 2) 平成24年2月12日(日)に東京及び大阪で、設備維持管理士認定試験（配管・設備、回転機、電気設備、計装設備）を実施する。
- 3) 平成24年1月に東京で、設備維持管理士更新講習会（回転機、電気設備、計装設備等）を実施する。
- 4) 平成24年2月に東京及び大阪で、設備維持管理士更新講習会（配管・設備）を実施する。

9. 新将来構想委員会の設置

公益社団法人への移行を契機に、今後10年程度の範囲で本会の進むべき方向・あるべき姿を検討する委員会を組織し活動する。活動成果は本年度末に、会長及び理事会に報告する。